

takeoff

検索補助

説明書

■はじめに

wnc develop のソフトウェアをご利用いただきましてありがとうございます。このソフトウェア takeoff は読み込んだテキストを行単位で絞り込み表示します。表示しか行えず、読み込んだ1つのテキストファイルのみ実行します。複数ファイルからの絞り込みや高度な機能はありませんので、それらの機能を使用したい場合は他の高機能な grep ソフトウェアをおすすめします。

※業務上電子辞書のような絞り込みが必要だったので製作しています

takeoff は以下のファイルで構成しています。

takeoff.exe	プログラム本体です
takeoff.ini	起動時に作動させる機能設定用です
takeoff.pdf	pdf版説明書(pdf表示ソフトウェアが必要)

■重要事項

このソフトウェアを使用した結果、パソコンや USB メモリ・ハードディスク類に保存されているデータなどに影響を与え、損害を出しても作成者およびこのソフトウェアの配布者(掲載者)は一切責任を負いません、ということをご理解ください。

普通の使用法ならばこのような事態は起こりませんが、できるだけ重要データはバックアップをとるか、業務に全く影響を与えないパソコンでの使用をおすすめします。

■動作環境

Microsoft Windows XP , Vista , 7 , 10 (100%上位互換,32bit 版) が必要で、CPU は 80x86 完全互換で動作します。

作動機械は、上記の OS が動作保証されている PC/AT 互換機です。

※ Windows Server 2003 R2 , 2008 上の GUI でも起動確認済み (動作保証外)

※ Windows 8 はテスト環境がなくなったので未検証

※ Windows NT4.0 , 2000 Pro 起動確認済み (動作保証外)

※ 64bit 版の OS では WOW64 の機能で 32bit ソフトウェアとして動作 (7 , 10 のみ確認)

EPSON AT971 (Pentium Dual-Core 3GHz,4GB,Windows 7 Pro 32bit SP1)

SONY ノート PC (256MB,Windows XP SP3)

NEC ノート PC (4096MB,Windows 10 Pro 64bit)

TOSHIBA NB100 (2GB,Windows Vista Home Basic SP2)

DELL デスクトップ PC (Core i3,2GB,Windows 7 64bit SP1)

Windows は Microsoft 社の登録商標または商標です。

Pentium,Celeron は Intel 社の登録商標または商標です。

製品名および会社名は各社の登録商標または商標です。

■インストール方法

ハードディスクか USB メモリに、配給している ZIP から

takeoff.exe

を取り出して保存すれば完了です。実行するにはエクスプローラから **takeoff.exe** をダブルクリックすると起動できます。必要であれば、ショートカットを作成したりスタートメニューに登録してください。

takeoff.exe に必要な DLL などは OS 標準状態で供給されているものだけを使用しているため特別な DLL やコントロールモジュールは必要ありません。
(コンパイラの基本コンポーネントのみで製作しています)

■アンインストール方法

レジストリなどを操作していないのでアンインストールは下記のファイルを削除するだけで完了です。

(スタートメニューやショートカットを作成した場合はそれも削除してください)

takeoff.exe

takeoff.ini

takeoff.pdf

注) **takeoff.ini** はご自身で作成しない限り存在しません

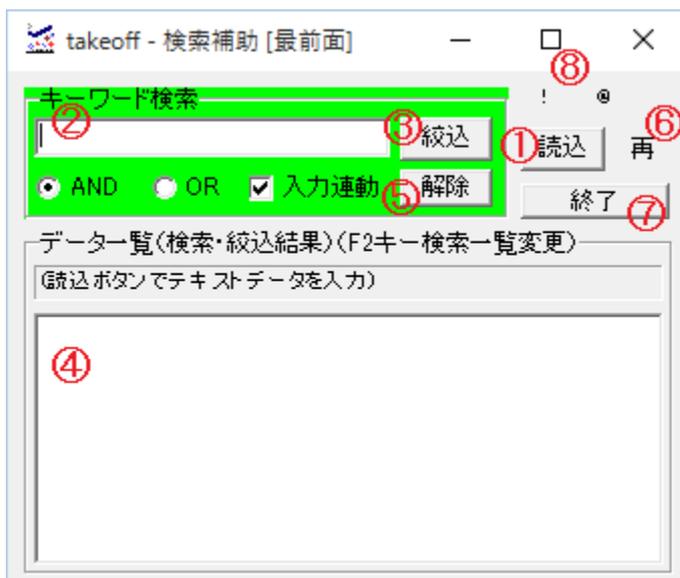
takeoff.exe は必要な機能を内部ですべてもっていますので勝手に DLL を作成したり SYSTEM フォルダに移したりしません。また、レジストリや **takeoff.ini** 以外の設定ファイルは一切触れていません。

■使い方

読込ボタン①でテキストファイルを読み込みます。読み込める形式はシフト JIS 形式のテキストです。もともとシフト JIS の CSV を読み込めるようにしているので CSV ファイルを読み込ませることを想定しています。

注) CSV はそのまま読み込みますので分解等は一切行いません

注) takeoff.ini に記述を入れておけば起動時に自動でテキストファイルを読み込みます。



キーワード検索の枠②に検索・絞り込みを行いたい単語を入れます。スペースを入れることにより複数の単語による絞り込みも行えます。絞り込みボタン③で実行です。結果はデータ一覧の枠④に出力します。解除ボタン⑤でキーワード検索枠②を消去します。読込ボタン①で読み込むとキーワード検索枠②を初期化します。

注) キーワードには空白を含めて全角 50 文字、半角換算 100 文字が最大入力限界

AND と OR の検索がありますが、AND の状態ではすべての単語が含まれる行となります。

注) これらは takeoff.ini に記述を入れておけば起動時に選択を変更できます。

データ一覧の枠④上でマウスの右クリックするとメニューを表示しますので必要に応じて検索結果をコピーできます。再読込ボタン⑥をクリックすると読込ボタンで読み込んだファイルを再読み込みを行います。終了ボタン⑦をクリックすると即時 takeoff を終了します。

!ボタン⑧は takeoff についてを表示します。

@ボタン⑧は takeoff.ini に設定できる項目を表示します。この枠は選択してコピーした後メモ帳等に貼り付けて使用してください。@ボタンはもう一度クリックすると表示を終了します。

■できないこと

複数のファイルを読み込んで絞り込むこと、ワイルドカードや曖昧検索他のソフトウェアで当たり前に行えること。

■takeoff.iniの項目 ★はtakeoff.iniでのみ設定可

[TOFF]

;IMEMODE はキーワード検索用(0=変化なし,1=IMEOFF,2=ひらがな,3=カタカナ) ★

IMEMODE=0

;

;検索表示リミッター(初期値 500 , 32bit 値の範囲で指定可能) ★

MAXVIEW=500

;

;takeoff の表示状態(0=標準 , 1=常時最前) ★

FORMSTYLE=0

;入力連動の状態(1 でチェック状態)

INRTIME=0

;

;検索条件(AND=0 , OR=1)

IFOR=0

;

;起動と同時に読み込むテキストファイル(シフト JIS のみ対応) ★

STARTREADTXT=

;

;再読込自動(1=ON) 更新確認後 ★

RELOADAUTO=0

;

;再読込確認時間(ミリ秒) (初期値 2000 , 0 は作動しません) ★

RELOADTIM=2000

;

;検索結果のフォントサイズ (初期値 9) ★

L1FONTSIZE=9

■v1.00で実装された機能

再読み込みボタンと読込ボタンで読み込んだファイルが更新された場合自動で再読み込みを行います(再読込自動は ini に設定を入れないと作動しません)

また、ファイルの更新日時を見て判断するので更新日時を変更せずに更新するソフトウェアで書き換えた場合は検知できません。

再読み込みで失敗した場合は再読込自動を一旦停止します。この場合、もう一度読込ボタンで読み込ませれば再読込自動が再開します (ini に再読込自動を定義している場合)。読込対象ファイルの更新確認時間はミリ秒単位で ini に定義します。あまり小さい数値を入れると takeoff が CPU の資源を消費してしまうので 500 から 2000 位までがおすすめです。

■ソフトウェアの仕様(推測です。実際はもっと少なくなる場合があります)

読込ファイルサイズ限界(2G バイト未満、～ 10M バイトまで推奨)

検索件数限界(2 億、OS から割り当てられるメモリ未満)

検索表示限界(2 億、理論値なので～ 1 万件推奨)

1 行最大(不明,ListBox の限界値、～ 200 文字推奨)

ソフトウェア上で制限をかけていないためカウンタ等が 32bit 値の整数範囲を超えた場合誤動作する可能性があります。検索表示限界については takeoff.ini に設定を入れることにより任意に変更できます。

■その他注意事項

キーワードに半角のアルファベットを入れたときは大文字小文字区別しません

検索結果のクリップボードへコピー機能についてキーボード操作は Ctrl+C(選択中の行コピー)と Ctrl+A(全選択)のみ実装しています (マウスでは検索結果上で右クリックしてください)。

■バージョン情報

- v0.00.00 完成 (2014/12/20)
- v0.00.01 初期テスト版、入力連動・AND/OR 機能追加 (2014/12/22)
- v0.00.02 デザイン変更、ドラッグドロップ・常時最前面对応、バグ修正 (2014/12/29)
検索結果をクリップボードにコピー機能 (2014/12/31)
- v1.00.00 再読み込みボタンおよび再読み込み自動機能追加 (2015/11/03)
- v1.00.01 ドラッグドロップ後再読み込みエラー抑制 (2015/11/03)

■おしまい

takeoff はもともとデータベースを起動するのが面倒だったからというものがあるのですが、S 社の電子辞書をよく使うのでそのキーワード絞り込み能力がすごくよくできているのでそんな機能がついた検索機能付きのソフトウェアを探したのですが見つからず、しかたなく製作したというものです。データベースの絞り込みや検索はいちいちクリックしたりするのが面倒でした。

一応これで完成なのですが、業務上つまずいたら改良するかもしれません。

今回 v1.00 を製作するにあたって、別ソフト用辞書の単語編集をおこなっていたのですが takeoff で検索させて入っていなければエディタで追加して上書きを行う。そしてもう一度 takeoff に読み込ませて反映を確認する、ということを繰り返していました。そのうち面倒になったのでエディタが更新したのを takeoff 自身が判断して再読み込みさせるということにしたのです。ぼちぼち使えそうだったのでこれでいいかなと思ったのですが、そもそも辞書用ツールに takeoff の機能を組み込ませて、無い単語は追加ボタンで追加できるようにしたらよいことに気がついたのです。

2015 年 11 月

<http://hp.vector.co.jp/authors/VA055892/> (wnc inu goya 頁)

wncdevelop@yahoo.co.jp

注) 2014 年 4 月からメールアドレスが変更になっています

©2014,2015 wnc / t.w.